資料５

おおた生涯学習推進プラン
令和7年度取組状況報告

※本プラン以外の区の個別計画で進行管理を行う事業・取組については、本プランにおける進行管理は行わず、各個別計画で進行管理を行います。

基本理念

学び　つながり
地域力で
羽ばたくまち

趣味やサークル活動などの自発的な学びは、心の豊かさをもたらすだけでなく、新たな関心を育みます。

新たな関心が新たな学びにつながり、さらなる知的欲求の充足や生活の改善及び自己実現につながります。

学び合いを通じて相互に理解し認め合うことで、自己肯定感や幸福感、つながり意識などが生まれ、人と人との絆の強化や、コミュニティの形成につながります。

学びを通して生きがいを持った区民が増えること、また、学び合いを通じた地域のつながりが育まれることで、地域力が向上し、誰もが自分らしく心身共に健康に暮らし、新しい世界とつながることができるまちとなります。この目指すまちの姿を「羽ばたくまち」と表現しています。

また、区内では既に多くの主体が地域力を発揮し、特色ある資源を生かした豊かな学びの機会を提供しています。こうした地域力を生かした学びをさらに区民に身近なものとしていくことは、地域力をさらに向上させることにつながります。

基本目標

基本目標１
個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ＩＣＴの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

基本目標２
学びを通じたつながり・活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

基本目標３
地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会がつながる情報の発信を行います。

施策	取組の方向性	重点的取組
1－1 多様な分野での学びの充実	① ライフステージごとの学びの充実	1 地域力を生かし育む、学びとつながりの循環の創出
	② 心身の健康を育む学びの充実	
	③ 安心して暮らすための学びの充実	
1－2 誰もが学び始めることができる仕組みづくり	① 誰もが参加しやすい学びの充実	
	② 学びの環境のバリアフリー化	
	③ ＩＣＴを活用した学びの充実	
2－1 つながりが生まれる場づくり	① 交流の基盤づくり	
	② 活動内容や成果の発表・交流促進	
2－2 学びが生かせる仕組みづくり	① 学びを地域で生かし、発展させる機会の提供	
3－1 学びの情報発信の充実	① 区民と学びをつなぐ情報発信の充実	
3－2 推進体制の構築	① 地域力を生かして学びを支える仕組みづくり	
	② 学びに関する相談対応機能の充実	
3－3 施設の機能・利用機会の拡充	① 地域に根差した学びの拠点づくり	
	② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充	

2 ＩＣＴを活用した学びの環境整備

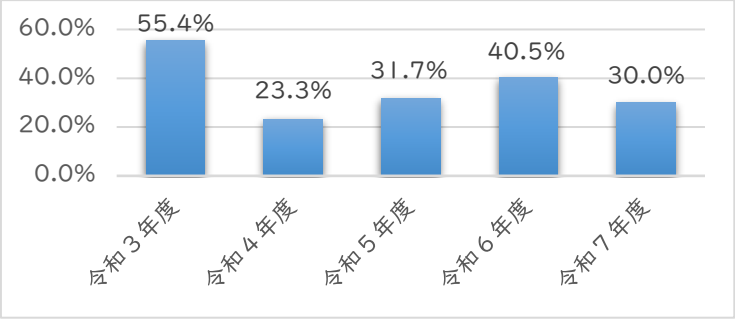
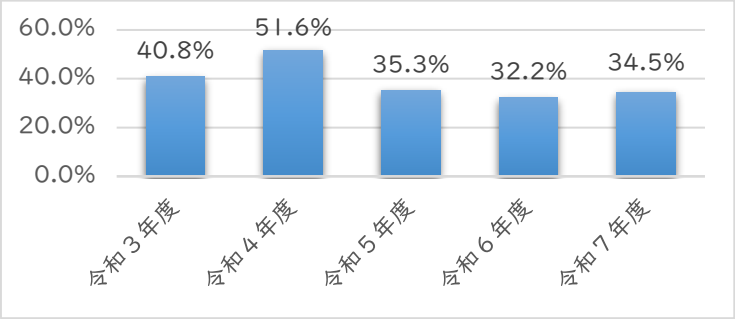
3 地域の学びを支える施設や事業の拡充

基本目標１ 個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ＩＣＴの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

<table>
<tr><td rowspan="4">注目指標

目 標
（前年比向上）</td><td>生涯学習の実行状況（過去１年間の生涯学習実行状況）</td></tr>
<tr><td> 
</td></tr>
<tr><td>オンラインでの生涯学習経験
（オンラインで生涯学習を行ったことがある人の割合）</td></tr>
<tr><td> 
</td></tr>
</table>

施策 1-1　多様な分野での学びの充実	
内容	価値観やライフスタイルが多様化する中、区民には幅広い分野において潜在的な学びのニーズがあります。このため、あらゆる世代の区民が、ライフステージや関心に応じて学習を選択できるよう、多様な学習提供主体と連携しながら学びの機会の充実に取り組みます。
取組の方向性	①ライフステージごとの学びの充実 ②心身の健康を育む学びの充実 ③安心して暮らすための学びの充実

関係する主な事業取組状況 （人数：延べ参加者数）	ユネスコ活動	
	内容	「ユネスコ憲章」及び「ユネスコ活動に関する法律」第４条に基づき、ユネスコ活動の目標を達成するため、地域の特性に応じた講演会や写真展を大田ユネスコ協会と共催します。
	実績	講演会２回（87 人）、写真展３回を大田ユネスコ協会と共催しました。 [前年度]講演会２回（73 人）、写真展３回
	消費者講座（親子講座）	
	内容	小学生とその保護者を対象に、消費生活にかかる諸問題や環境資源・エネルギー、食育などについて、工作や料理などの体験と親子の触れ合いを通じて学ぶ機会を提供します。
	実績	親子で参加できる講座を１回（23 人）開催しました。 [前年度]１回（６人）
	生活展	
	内容	消費者問題を柱として、環境、防災、リサイクル等幅広い問題に関する展示、発表、講座等を行います。
	実績	１回（１日間）区内の消費者団体と共催し、1,705 人の来場者がありました。 [前年度]１回（１日間、1,448 人）
	特殊詐欺等防止のための啓発活動の推進	
	内容	特殊詐欺や消費者トラブル等の被害に遭わないように、防災危機管理課、高齢福祉課と連携し、具体的な手口やその防止策等について啓発活動を行います。
	実績	特殊詐欺や消費者被害撲滅に向けた講座を１回（201 人）、特殊詐欺に関する DVD 上映を 124 回(1,686 人)開催しました。 [前年度] 特殊詐欺や消費者被害撲滅に向けた講座を１回（277 人）、特殊詐欺に関する DVD 上映を 121 回(1,498 人)開催しました。
	深める・つながる講座	
	内容	地域社会に密着した課題など幅広いテーマについて学ぶ機会を提供します。区内の大学や専門学校との提携による専門性の高い講座や、区民参画の企画講座などにより区内の特色ある資源を活用しながら、区民の多様な学習意欲に応えます。また、他の学習者との学び合いにより、学びを深めながら地域への愛着を育みます。
	実績	生涯学習入門、現代的課題、地域づくりなどをテーマに、公募企画員による企画講座や区内大学等との提携講座など 73 回（1,065 人）開催しました。 [前年度]78 回（861 人）

<table>
<tr><td rowspan="6">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">学びのきっかけ講座</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>これまで「生涯学習」、「学び」に親しみがなかった区民の参加を促し、学びの裾野を広げることを目的として、気軽に参加できる講座を拡充しました。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>日々の暮らしに役立つ講座など３講座（腸活、かぎ針編み、情報リテラシー）を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。
[前年度] 日々の暮らしに役立つ講座２講座（エコクッキング）及び東京工業大学（現・東京科学大学）提携講座を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。

▲かぎ針編み講座</td></tr>
<tr><td colspan="2">生活学校による事業実施</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>地域社会や生活に関わる諸課題をテーマに課題解決を目指す運動を行っている生活学校に委託し、地域に根差した学習機会を提供します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>暮らしに関する講座等を生活学校に委託し、６回（121 人）開催しました。また、生活学校と合同研修を１回（34 人）共催しました。
[前年度]委託事業６回（116 人）、合同研修１回（34 人）

▲生活学校 合同研修</td></tr>
<tr><td>定性評価・今後の方向性</td><td colspan="2">●【深める・つながる講座（じんけんカフェ】じんけんカフェは、知識を得る場であると同時に、「語り合うこと」そのものが人権を育む営みであることを確認できる機会となりました。また、世代や立場の違いを越えて意見が交わされたことは、「共に生きるまち」を実感的に考える契機となりました。今後は、本講座で得られた気づきや参加者の声を、地域での実践や住民同士の学び合いにつなげていくことが期待されます。
●【深める・つながる講座（リベラルアーツ)】地域の生涯学習を担う人材として、仕事や子育てが一段落し、体力にも余裕がある“人生おり返し”世代を対象とした講座を３年間連続で実施しました。毎回、定員を大幅に上回る応募があったことからも、この世代の区民が話し合いの場を求めていることがわかります。「日頃あらためて考えない深いテーマ」を「気軽に」「安心して」話せる場をつくることができました。講座終了後にもう一度集まりたいという希望が複数名からあったため、参加者の自主的なつながりづくりを支援しました。
●【深める・つながる講座（専門学校提携講座)】東洋医学をテーマとした講座を実施しました。グループでの話し合いを多く取り入れてきたことで、参加者同士の交流が生まれ、継続学習の希望があったため、フォローアップを開催しました。参加者一人ひとりが講座を振返り、東洋医学につながることへの興味を話しました。不定期にでも東洋医学をテーマに集まり、学び合いを続けることに発展しました。
➡身近な社会問題や地域課題について考える機会として、人権問題、多文化共生、生き方、地域学、民主主義など幅広いテーマを取り上げ、講座を実施しました。今後も区民の主体的な学びを支援するため、多様なニーズに応じた学習機会を提供し、生涯を通して楽しく学べるサポートが必要です。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">施策 1-2　誰もが学び始めることができる仕組みづくり</th></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">区民の学ぶことへの意欲は高い一方で、様々な障壁により意欲があっても実行できていない方がいます。このため、学ぶ意欲のある区民の誰もが学び始められるよう、学びへのアクセスが困難な方を対象とした機会の提供や、ＩＣＴを活用した学習・活動機会の提供、保育環境の整備、外国人区民・障がいのある方へのサポート等、学びやすい環境を整えます。</td></tr>
<tr><td>取組の方向性</td><td colspan="2">①誰もが参加しやすい学びの充実
②学びの環境のバリアフリー化
③ＩＣＴを活用した学びの充実</td></tr>
<tr><td rowspan="13">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">まなビバ</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>１年を通して 24 回（44 人）開催し、受講者の継続的な学習を支援しました。
[前年度]23 回（44 人）</td></tr>
<tr><td colspan="2">保育付き事業</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>乳幼児の保護者が学習や地域活動に参加できるよう、講座等を保育付きで実施します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>主に高齢者の参加が多く見込まれる講座を除き、生涯学習講座等に保育室を併設しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ICT を活用した学びの充実</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>区民が学びたいときに自宅等から気軽に学ぶことができるよう、区や関連団体が実施する講座等のオンライン配信を拡充します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>気軽に視聴できる講座３講座（学びのきっかけ講座）を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。
[累計（令和７年度分含む）]オンデマンド配信 23 講座</td></tr>
<tr><td colspan="2">ICT リテラシー向上のための地域支援事業</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>スマートフォンの簡単な操作方法やオンライン会議の体験等、ＩＣＴスキルを習得する機会を提供し、ＩＣＴ機器を利用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）の解消に努めます。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>インターネットリテラシー向上を目的とした講座を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。
[前年度] SNS 初心者向け講座６回（103 人）、オンライン会議講座６回（99 人）

▲情報リテラシー講座</td></tr>
</table>

定性評価・ 今後の方向性	●【まなビバ】学習者一人ひとりが生活の中で大切に思っていることを学んだり、学び直しをしたりしました。学習をサポートするボランティアスタッフは、学習者が何を学びたいのかを考えるとともに、学習者とともに学んでいます。１年間の最後には学習発表会を実施し、学習者が普段はどのような内容をどのような方法で学んでいるかを発表しました。 ●【保育付き事業、ICT を活用した学び】学ぶ意欲のある区民が誰でも学び始められるように、講座を保育付きで実施したり、講座をオンデマンドで配信したりし、学びへの一歩を後押ししました。 ➡日本語の読み書きに不自由を感じている、参集型の講座に参加が難しい等、学びに対するハードルがある区民を対象とした主体的な学びの支援を今後も継続していく必要があります。

基本目標２　学びを通じたつながり・活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。

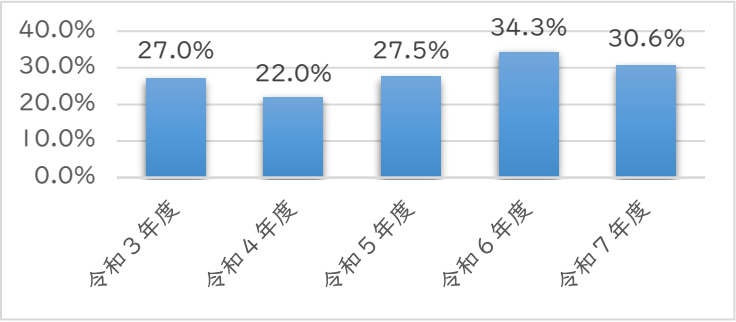
学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

注目指標

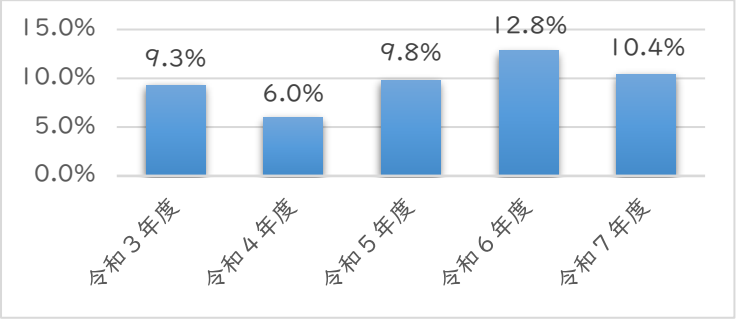
目　標

（前年比向上）

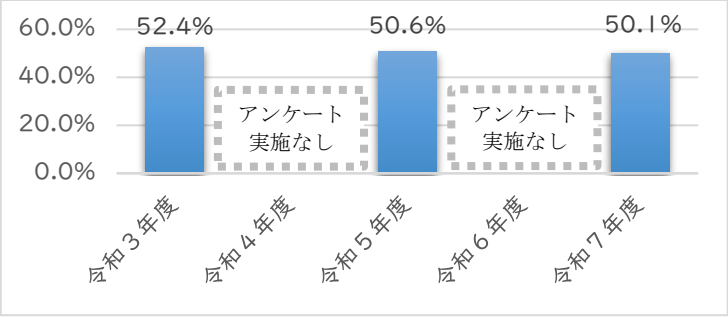
生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「知人や仲間ができている」と回答した人の割合）



生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「地域や社会での活動に生かしている」と回答した人の割合）



社会教育関係団体の交流状況
（地域の他団体と交流した経験が「ある」と回答した社会教育関係団体の割合）



<table>
<tr><th colspan="3">施策 2-1　つながりが生まれる場づくり</th></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">生涯学習によって人と人のつながりが増えることが期待されていることから、学んだことを自分の更なる学びにつなげるだけでなく、他者と共有することによって深めることや、学びをツールとしたつながりづくりをサポートします。</td></tr>
<tr><td>取組の方向性</td><td colspan="2">①交流の基盤づくり
②活動内容や成果の発表・交流促進</td></tr>
<tr><td rowspan="15">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">大田区生涯学習ボランティア制度</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>これまでの経験によって培った知識・技術を地域に役立てたいと考える個人や団体のボランティア登録を行う制度です。講師や運営のサポーターを探している方に、登録されているボランティアの情報を紹介することで、教えたい人と学びたい人をつなげます。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>登録者数 99 人、２団体（R8.4.1 時点）
[前年度] 登録者数 91 人、２団体（R7.4.1 時点）</td></tr>
<tr><td colspan="2">社会教育関係団体・少年育成団体登録制度</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>学習・文化・スポーツなど、社会教育に関する活動を目的とした団体と青少年の健全育成に資する活動を目的とした団体を登録する制度です。団体の主体的な活動を支援することで、他団体や区民、地域とつながるきっかけをつくります。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>2,005 団体（R8.3.31 時点）
[前年度] 1,918 団体（R7.3.31 時点）</td></tr>
<tr><td colspan="2">生涯学習のつどい</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>学びを生かした活動の実践例を展示・発表することで、学びの深め方や、学びをきっかけとしたつながりづくりについて知り、考える場を提供します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>生涯学習事業を報告するパネル展示と、生涯学習相談会を同時開催し、広く学習情報や地域活動情報を紹介しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">NPO・区民活動フォーラム</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>区内で活動する様々な区民活動団体や NPO などの実践的な取り組みを地域関係者に紹介します。地域の様々な主体が「顔の見える関係」を構築し、連携・協働を促進することを目的として開催します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>「区民活動フェア＠大森」と題して、大森地域にて区民活動団体と地域関係者との出会いの場を作りました。
24 団体が出展し、約 176 名が来場しました。
[前年度]1 回、出展 37 団体、来場者約 950 名</td></tr>
</table>

定性評価・ 今後の方向性	●【社会教育関係団体・少年育成団体登録制度】団体が活動している文化センターでサークル体験会を開催したところ、参加者から「やりたいことを具体的にイメージしやすくなり、学習活動への参加意欲が高まった」などの声がありました。また、団体にとっては参加者に活動を紹介することで、団体活動の意義を再認識する機会になりました。 ➡全社会教育関係団体を対象に令和７年 10 月に実施したアンケート調査では、今後、活動を継続していく際の問題点として、「会員の減少」や「新規会員が増えない」ことが多く挙げられました。今後も相談対応などにより団体の継続的な活動を支えていくとともに、サークル体験会の継続・拡充により、区民に身近な場所で学びが広がるサポートをしていきます。

施策 2-2　学びが生かせる仕組みづくり		
内容	学びの成果を地域での活動等に生かすことは、自己有用感やさらなる活動に対する意欲を育むとともに、課題解決のための新たな学びを求めるといった持続的な学びと活動の循環につながります。 学びによって得た知識や経験、ノウハウを地域課題の解決に生かしたいという区民や団体に対し、スキルアップのための機会の提供、地域とつながるきっかけづくりや活動の支援を行うことで、従前から地域で活動している区民や団体に加え、新たな担い手が参加しやすい機運を醸成します。	
取組の方向性	①　学びを地域で生かし、発展させる機会の提供	
関係する主な事業取組状況（人数：延べ参加者数）	区民プロデュース講座（個人）	
	内容	大田区生涯学習ボランティアがこれまでの経験や知識を活動に生かせるよう、区民向け講座の企画・運営の場を提供し、大田区生涯学習ボランティアのスキルアップの支援を行います。
	実績	文化センター等を会場として５講座（123 人）開催し、地域の身近な施設で学ぶきっかけをつくるとともに、大田区生涯学習ボランティアに実践の場を提供しました。 ［前年度］９講座（118 人）
	区民プロデュース講座（団体）	
	内容	大田区社会教育関係団体が自主的に地域で活動を展開できるよう団体による区民向け講座の企画・運営支援を行います。
	実績	講座の企画について、２団体から相談がありました。 ［前年度]講座実施　５団体５回（58 人）
	生涯学習相談員の支援	
	内容	生涯学習人材育成講座修了者が生涯学習相談員として、区民からの生涯学習に関する相談対応等を通じて、地域課題を把握しながら地域とのつながりを構築できるよう支援します。
	実績	生涯学習相談員 37 人に対し、研修会３回を開催し、スキルアップを

		行いました。大田区生涯学習ボランティアとの交流を深めるため、生涯学習人材交流会を１回（29 人）開催しました。 [前年度] 生涯学習相談員 30 人、研修会３回、交流会 １回（46 人）
	災害ボランティアの育成・支援	
	内容	災害時に備えるため、被災地ボランティア未経験者を含めた講座を実施し、災害ボランティアの育成及び被災地ボランティアの区民活動への参加を促します。
	実績	災害ボランティアのリーダーとなり得る人材の育成及び活動の支援を目的とし、防災塾６回（410 人）、災害ボランティアリーダー育成講座１回（230 人）、ボラセン・サテライト・プロジェクト 11 回（137 人）を開催しました。 [前年度]防災塾２回（170 人）、災害ボランティアリーダー育成講座１回（26 人）、ボラセン・サテライト・プロジェクト 11 回（137 人）
	生涯学習サポーター養成講座（旧：生涯学習人材育成講座）	
	内容	区民の主体的な学習活動の推進役となる人材を育成するため、社会教育・生涯学習の基礎について学ぶ機会や地域とのつながりを築く機会を提供します。
	実績	講座を 11 回（22 人）開催しました。 [前年度] 12 回（41 人）
	区民活動支援事業	
	内容	区民活動団体の活動基盤の強化や、地域や団体間におけるコーディネート機能強化、団体同士のつながりづくりを促進するため、組織運営ノウハウや活動を活性化させる手法などを学べる講座や、区民活動コーディネーターの視点を身に付け地域の中で連携や協働のアイデアを活かせる講座を行います。また、伴走支援や交流会等の開催による連携支援も行い、包括的に活動を支えます。
	実績	区や区民活動団体等と協働して地域課題の解決を図ることのできる人材の育成を目的とし、区民活動コーディネーター養成講座 10 回（22 人）を実施しました。また、講座での学びを活かし、実践的な経験を積む「ワールドカフェ（対話型交流）」１回（19 人）を開催しました。区民活動に役立つテーマ別講座３回（27 人）を開催しました。 [前年度]区民活動コーディネーター養成講座７回（85 人）、対話型交流１回（21 人）
定性評価・ 今後の方向性	●【区民プロデュース講座（個人）】区民に身近な文化センターで学習機会を提供することができました。また、対象者を親子にするなどの工夫により、文化センターに新たな来館者を呼び込むことができました。 ●【生涯学習相談員の支援】生涯学習ボランティアとの交流会では、グループワークなどを通して他者の実践を聴くことで、自らの学習活動をさらに深めるヒントを得る機会となりました。また、生涯学習の実践を積んできた人材が互いの実践を認め合い、つながりをつくるきっかけを提供しました。	

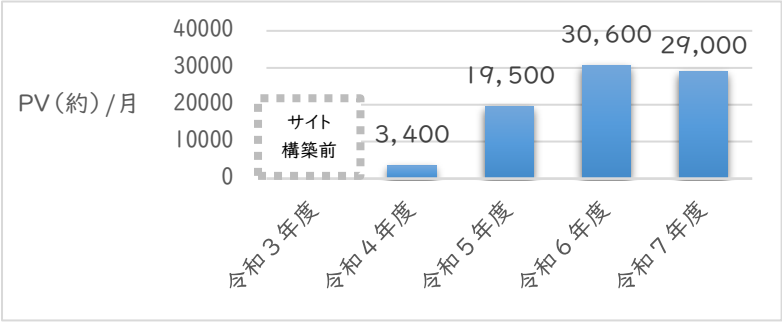
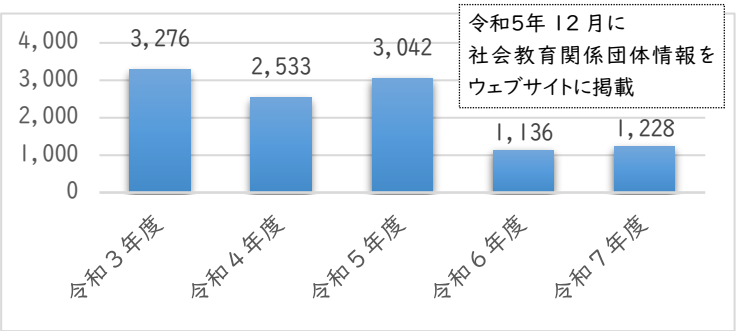
	➡文化センターにおいて相談会や講座を実施することで、団体やボランティアに実践の場を提供することができました。持続的な学びと活動の循環につなげるためには、より学びの成果を地域での活動等に活かす機会を提供することが必要です。

基本目標３　地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。

こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会がつながる情報の発信を行います。

<table>
<tr><td rowspan="4">注目指標

目　標
（前年比向上）</td><td>大田区生涯学習ウェブサイト閲覧数</td></tr>
<tr><td> 
</td></tr>
<tr><td>生涯学習相談件数</td></tr>
<tr><td> 
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">施策 3-1　学びの情報発信の充実</th></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">各主体別に提供している様々な学習情報を体系化し、区民の学びたいことと学びの機会がつながる情報発信を行うことで、生涯学習を始めるきっかけをつくります。「生涯学習」という言葉を認識していない区民であっても、必要な情報にたどり着きやすくなるような工夫をします。</td></tr>
<tr><td>取組の方向性</td><td colspan="2">①　区民と学びをつなぐ情報発信の充実</td></tr>
<tr><td rowspan="3">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">生涯学習情報誌「おおたまなびの森」</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>生涯学習を行うきっかけづくりを目的とし、区内で行われている講座・講演・催し物などを掲載します。希望する社会教育関係団体の情報も掲載しています。
</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>４回　各 1,200 部発行</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">おおた地域力発見ガイド</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>地域活動を始めたい人や既に地域活動に携わっている人向けに、区内で行われている地域活動や、地域参加・地域活動を応援する事業を集約・掲載します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>１回　2,850 部発行</td></tr>
<tr><td colspan="2">生涯学習ウェブサイトの運用</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>区内の生涯学習に関する情報を一元的にわかりやすく発信するウェブサイトを運用し、区民の学習や活動のきっかけづくりを支援します。またサイトを通じて、各種講座をオンライン受講できるよう整備します。

▲サイト トップページ</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>閲覧数 約 29,000PV/月
[前年度]約 30,600PV/月</td></tr>
<tr><td colspan="2">大田区区民活動情報サイト「オーちゃんネット」</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>大田区におけるさまざまな区民活動団体（自治会・町会、ＮＰＯ法人、任意団体、社会教育関係団体等）の活動内容やイベントなどの情報を発信します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>登録団体 721 団体、アクセス件数 120,777 件、
閲覧数 404,638PV/年
[前年度]登録団体 690 団体、アクセス件数 86,570 件、
閲覧数 264,464PV/年</td></tr>
<tr><td>定性評価・
今後の方向性</td><td colspan="2">●【生涯学習ウェブサイトの運用】ウェブサイトでは、地域で実施されている講座やサークルなどの情報がいつでも検索でき、区民の学びのきっかけとなっています。また、ウェブサイトから動画講座の視聴や、講座の申込み、お問合せ等に繋がっています。

➡より多くの区民の学びのきっかけにつながるよう、引き続き SNS や講座等においてウェブサイトの周知を行います。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">施策 3-2　推進体制の構築</th></tr>
<tr><td>内容</td><td colspan="2">区民が学びを通じて個人の人生を豊かにするとともに、豊かな人と人とのつながりを構築することで地域力を向上させるためには、それを支える様々な主体との連携が求められます。庁内の関係部局はもちろん、学校、地域、関係機関や専門職等と積極的に連携・交流することで、区が有する特色ある資源を結集し、地域力を生かした生涯学習施策を推進します。</td></tr>
<tr><td>取組の方向性</td><td colspan="2">①地域力を生かして学びを支える仕組みづくり
②学びに関する相談対応機能の充実</td></tr>
<tr><td rowspan="13">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">生涯学習の推進に係るネットワークの構築</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>区内で生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・情報共有する場を設け、地域特性や各主体の専門性を生かした学習・活動機会を拡充します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>大田区における生涯学習の推進について広く意見を求め、生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・協働し、「おおた生涯学習推進プラン」で掲げた基本理念を実現するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議を運営しました。
開催回数　３回</td></tr>
<tr><td colspan="2">関係部局との連携・協働の推進</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>生涯学習に関連する施設、学校のみならず、それぞれの行政課題に沿った学習機会を提供している庁内の部局と、区が目指す生涯学習のあり方を共有し、生涯学習推進に係る課題を解決していくため、横断的な連携体制を強化します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>生涯学習の機会を提供している部局と横断的に連携し、「おおた生涯学習推進プラン」を円滑かつ効果的に推進するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議に関係部局を招集し、次期プラン策定に向けて情報及び認識の共有を図りました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">生涯学習相談</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動等の情報提供や学びに関する相談対応を行います。区内の豊富な学びの資源と学ぶ意欲のある区民をつなげることで、区民の主体的な学びを支援します。生涯学習センター蒲田のほか、区民に身近な区施設等においても相談会を開催します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>生涯学習センター蒲田及び各地域の文化センターにおいて相談会を定期的に実施しました。
相談件数 1,228 件、相談会 40 回（125 件）
[前年度] 相談件数 1,136 件、相談会 40 回（150 件）</td></tr>
<tr><td colspan="2">学びに関する相談対応機能の充実</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>区内の豊富な学びに関わる資源と学ぶ意欲のある区民をつなげ、地域での学びを一層活性化するため、学びに関する相談・コーディネート機能のあり方について、実践的に検討します。また、個別の学びに関する相談やニーズを分析し、改善していくための取組も試行的に実施します。</td></tr>
</table>

関係する主な事業取組状況 （人数：延べ参加者数）	実績	対面や電話のみならず、生涯学習ウェブサイトから相談を受け付けています。また、相談内容を記録し、問い合せの多い内容については、生涯学習ウェブサイト上に「よくある質問」としてまとめ、利便性の向上を図っています。
定性評価・今後の方向性	●【生涯学習相談】区民に身近な文化センターで相談会を実施しました。一部の文化センターでは、生涯学習サポーターと検討し、相談会を「たちより処」と呼び替え、人生を豊かにするきっかけ探しのためのおしゃべりの場として参加を呼びかけました。文化センターに入りにくさを感じていた人たちの来場が生まれ、おしゃべりの中から潜在的ニーズを把握できました。 ➡地域の文化センターで相談会を実施することで、その地域で活動している団体の見学を併せて実施するなど、学ぶ意欲がある区民と地域をつなげることができます。今後もそのような機会の拡充が必要です。	

施策 3-3　施設の機能・利用機会の拡充		
内容	区民に最も身近な生涯学習に関連する施設における情報や場の提供、学びを通じた人や地域とのつながりづくりを支援する機能等を拡充し、区民が身近な施設で気軽に学び、活動できる環境を整備します。	
取組の方向性	①　地域に根差した学びの拠点づくり ②　生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
関係する主な事業取組状況 （人数：延べ参加者数）	区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進	
	内容	集会施設（文化センター・区民センター等）、図書館等の機能や使い方を区民にわかりやすく発信するとともに、区民の身近な生涯学習の場としてさらに活用されるよう拡充・整備を進めます。また、これから整備を進める複合施設は、生涯学習に関する情報発信の場や学びを通じて人が集まり、つながりを育む拠点としても活用していきます。
	実績	一部の文化センターでは、近隣図書館と連携し、文化センターの取組や利用団体を紹介する展示を図書館内で実施しました。
	区民活動支援施設（こらぼ大森・mics おおた）	
	内容	福祉、環境、まちづくりなどの地域の社会的活動や公益性のある活動を行う団体に対して、情報の提供、相談及び助言を行うとともに、活動の場所を提供します。
	実績	区民活動団体に対して、会議や活動の場の提供、助成金等の情報提供、団体運営や活動の相談支援、団体のスキルアップを目的とした講座を実施しました。

<table>
<tr><td rowspan="3">関係する主な事業取組状況
（人数：延べ参加者数）</td><td colspan="2">生涯学習センター・コーナー機能の拡充</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>学びたいことが明確になっていない区民も含め、区民の学び始めを支援するための生涯学習情報の提供、相談等の機能を有する「生涯学習コーナー」と、生涯学習情報の提供、相談等の機能に加えて、区内全域に渡る人材や施設に関する情報の集約、コーディネート機能、及び活動や交流のためのスペースを提供する「生涯学習センター」のあり方を検討します。</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>令和５・６年度「おおた生涯学習推進プラン」推進会議において「地域の学びの場のあり方検討」を実施し、具体的な取組みについて検討しました。</td></tr>
<tr><td>定性評価・
今後の方向性</td><td colspan="2">●【区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進】区民に身近な文化センターを活用し、相談会やサークル体験会、講座など幅広く実施し、人や地域とつながるきかっけづくりを行いました。

➡文化センターの機能などを知らない区民も多く、知ってもらう機会とするため、講座等を文化センターで継続して実施します。各地域の特色や資源を生かしながら、身近な地域において人や地域とつながるきっかけ、住んでいる地域に愛着を育むきっかけとなる取組を継続していきます。</td></tr>
</table>

重点的取組

Ⅰ　地域力を生かし育む、学びとつながりの循環の創出	
内容	区は、羽田空港やものづくり等、全国的にも知名度の高い資源のほか、自治会・町会活動が盛んであること、多様な教育機関が存在すること、スポーツや文化活動が活発であること等、生涯を通じて学ぶための豊富な資源に恵まれているといえます。それらの資源（主体）との連携・協働を強化し、区内の学びに関する情報を集約・分析や改善をしながら、多様化する区民の学習・活動ニーズに応えていくことは、地域力を生かした学びの機会充実につながります。地域力を生かした豊かな学びを通じて、つながりや地域に対する愛着を育み、地域での活動を側面的に支援することで、さらなる地域力の向上につなげます。
重点事業	1-1-③　深める・つながる講座 2-2-①　区民活動コーディネーター養成講座 3-2-①　生涯学習の推進に係るネットワークの構築 3-2-②　生涯学習相談
定性評価・ 今後の方向性	●深める・つながる講座をはじめとする生涯学習講座では、地域で活動する団体や教育機関等(地域の資源）と連携し、それぞれが持つ知識や経験、これまでの活動成果を生かした学習機会として講座を実施しました。 下記の講座では、地域の団体が積み重ねてきた学びを区民と共有し、展示や対話を通して、人と人、区民と団体、団体同士がつながる機会をつくりました。また、参加者が地域への理解や愛着を深め、新たな関心や次の学び、地域での学習や活動へ踏み出すきっかけを創出しました。 【講座ピックアップ】 講座名：未来を拓く「おおた地域学 2025」～一人ひとりが学びの主役 《内　容》 社会や大田区の変化、社会教育施策の歩みをまとめた「大田区社会教育年表」を展示会場の中心に配置し、その周囲には、これまで実施してきた講座や社会教育関係団体等の学習活動を通して蓄積された写真、地図、記録等を、地域ごとに展示しました。 来場者は、展示会場で、年表や展示を見ながら、自身が暮らしてきた時代や地域での経験を振り返り、地域の歴史や、そこで積み重ねられてきた学びへの理解を深めました。 また、展示を観るだけでなく、年表に自身の「記憶」や「思い出」を書き加え、その場に居合わせた人や地域で活動する団体と語り合うことで、さらに疑問や問いが生まれ、新たな関心や人とのつながり、次の学びへと広がる機会となりました。 講座の形式等 1　展示「おしゃべり展示会」 地域で活動する団体が、これまでの学習活動やその成果を展示形式で発表しまし

定性評価・ 今後の方向性	た。団体のメンバーが来場者に展示内容を説明し、展示をきっかけに地域の出来事や活動について語り合いました。 2　ギャラリートーク「学びをデザインでつなぐ」 「大田区社会教育年表」を観ながら「学びを拓くとは？」「デザインが果たす役割とは？」等を参加者とともに考えました。 3　基調講演「地域で学び合うことの意味～対話が育む地域の力～」 地域の人々が互いの経験や考えを持ち寄って学び合うことが、人と人との関係や地域への関心をどのように育み、暮らしや地域の未来につながるのかを、参加者とともに考えました。 4　パネルディスカッション「あなたの『学び』がまちの『未来』につながる」 図書館、郷土博物館、生涯学習担当が、それぞれの取組や役割を紹介しました。その上で、地域にある「学びの場」をどのように支え、相互につなぎ、地域全体へ広げていくことができるかを、参加者とともに考えました。 《講座担当者による振り返り》 展示会場では、記憶や思い出が語られるだけではなく、地域課題や学習の相談を受けることもあり、今後はそれらを記録・整理し、新しい学習課題につなげていくことが必要です。そうすることで、これまでの学習成果が新たな学びや地域での実践を生み、「学びと活動の循環」へ発展します。

重点的取組

２　ＩＣＴを活用した学びの環境整備	
内容	ＩＣＴ等の高度化により、時間的、空間的な制約を超えた学びの機会を提供することが可能となっています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる学習や交流等、ＩＣＴを活用した学びやつながりへのニーズが顕在化しています。ＩＣＴを活用した学びに関する情報の発信や学習環境の整備を進めることで、学ぶ意欲があっても、時間的制約等から実行することができていない人たちに対しても、学びやつながりづくりの機会を拡充します。 ＩＣＴを活用した学びの環境整備と並行して、ＩＣＴ機器を活用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）の解消にも努めます。
重点事業	1-2-③　ICT を活用した学びの充実 1-2-③　ICT リテラシー向上のための地域支援事業 3-1-①　生涯学習ウェブサイトの運用
定性評価・ 今後の方向性	●自宅等からいつでも視聴できるオンライン講座を生涯学習ウェブサイトに拡充し、時間的、空間的な制約を超えた学びの機会を提供しました。今後もサイトの掲載内容の充実を図る他、サイトの認知度向上に向けた取り組みを継続します。 【動画講座ピックアップ】 ・白髪増えた？肌の艶はどこへ？今からでも遅くない！腸活 START！ ・かぎ針編み初心者さんにも分かりやすい　簡単可愛いニット帽の編み方 ・情報リテラシー講座～その情報は信じられますか？～ ●「スマホを教える仲間になろう」講座受講者が、ボランティアとして、スマートフォンの基本操作や活用方法に関する相談に対応しながら、一人ひとりの興味や暮らしに寄り添い、スマホを活用した新たな学びや楽しみ、人とのつながりを育む生涯学習相談を行いました。

重点的取組

<table>
<tr><th colspan="2">3　地域の学びを支える施設や事業の拡充</th></tr>
<tr><td>内容</td><td>社会の変化に対応した多様な学びの機会を提供するため、講座内容を充実・体系化するとともに、事業自体の認知度を向上させる取組を進めます。
学びに係る区民のニーズ等を集約・分析し、改善につなげる仕組み及び相談・コーディネート機能のあり方についても検討します。
また、施設間の情報共有や連携を強化し、学習や活動の拠点となる生涯学習に関連する施設の機能・役割をわかりやすく示すことにより、区民が身近な場所で学習したり、活動したりしやすい環境を整備します。</td></tr>
<tr><td>重点事業</td><td>1-1-③　深める・つながる講座等生涯学習事業の拡充
3-2-②　学びに関する相談対応機能の充実
3-3-①　区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進
3-3-②　生涯学習センター・コーナー機能の拡充</td></tr>
<tr><td>定性評価・
今後の方向性</td><td>●「区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進」の試行的な取組として、社会教育指導員が文化センターを定期的に訪問し、講座や相談会を実施しています。この取組の結果、これまで文化センターを知らなかった区民の来館、団体への支援や新規加入につながっています。
【美原文化センターでの実践内容（一部）】
<table>
<tr><th colspan="2">生涯学習相談会</th></tr>
<tr><td>回数</td><td>11 回</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>学びに関する相談を受け付ける他、その施設で活動しているサークルの体験会を併設しました。</td></tr>
<tr><td>成果</td><td>参加者にとっては、文化センターに入るきっかけとなり、学びの情報を得ることにつながりました。また、サークルの活動を体験することで、やりたいことを具体的にイメージしやすくなり、学習活動への参加意欲の向上につながりました。体験会を実施したサークルにとっては、団体活動の意義を再認識するきっかけとなりました。</td></tr>
<tr><th colspan="2">区民プロデュース講座</th></tr>
<tr><td>回数</td><td>２講座２回</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>親子運動遊び、お灸の体験</td></tr>
<tr><td>成果</td><td>対象者を工夫することで、文化センターに新たな来館者を呼び込むことができました。</td></tr>
<tr><th colspan="2">文化センターまつり</th></tr>
<tr><td>回数</td><td>２日間</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>社会教育指導員が文化センターまつりの実行委員会に入り、会の様子を見守りながら、適宜、助言を行いました。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="7">定性評価・
今後の方向性</td><td>成果</td><td>実行委員会の役員にとっては、出席員と双方向の会議づくりを目指す意識が芽生えるきっかけとなりました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報収集（地域調査）</td></tr>
<tr><td>成果</td><td>地域に学びを広げていくために、近隣施設との関係性を構築し、学びに関する施設ごとの取組や課題などを共有しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">深める・つながる講座</td></tr>
<tr><td>内容</td><td>草木染をテーマに講座を行い、草木染の実践にとどまらず、身の回りにある科学に関心を高めるきっかけとしました。</td></tr>
<tr><td>成果</td><td>講座後にフォローアップを行い、有志で講座のまとめを作成し、美原文化センターまつりで展示を行いました。展示を鑑賞した人を含め、自主的な活動につながり、草木染が隔月で開催され、学習が継続しています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">美原文化センター以外にも、嶺町文化センター、糀谷文化センター等へ社会教育指導員が定期的に訪問しており、地域の特色に合わせた取組を行っています。</td></tr>
</table>